

平成31年度年間授業計画

教科科目	教科(保健体育) 科目(1年 保健) 単位数:【 1 単位】
教科担当	(1組:法月 隆彦)(2組:法月 隆彦)(3組:大澤 貴彦)(4組:法月 隆彦)(5組:大澤 貴彦)
使用教科書:	現代高等保健体育(大修館)
副教材等:	

期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
一 学 期	4	私たちの健康のすがた 健康のとらえ方	わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解し、説明することができる。 健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとそれにかかわる要因について理解し、説明することができる。	〈 評価の観点 〉 ・関心・意欲・態度 ・主体性 ・知識・理解 〈 評価の方法 〉 ・定期考査得点 ・提出物(ノート) ・欠席遅刻見学数 ・授業態度	11
	5	健康と意志決定・行動選択 健康に関する環境づくり 生活習慣病とその予防	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し、説明することができる。 健康づくりを支える環境、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて理解し、説明することができる。 生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ、また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。		
	6	食事と健康 運動と健康 休養・睡眠と健康	健康的な食生活の重要性和意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。 健康からみた運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。 健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。		
	7	喫煙と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、日本や世界のたばこ対策について理解し、説明することができる。		
二 学 期	9	飲酒と健康 薬物乱用と健康	飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。	〈 評価の観点 〉 ・関心・意欲・態度 ・主体性 ・知識・理解 〈 評価の方法 〉 ・定期考査得点 ・提出物(ノート) ・欠席遅刻見学数 ・授業態度	14
	10	現代の感染症 感染症の予防	感染症は、時代や地域によって、社会環境や自然環境の影響を受け、発生や流行に違いがみられることを説明できる。 感染症予防の原則を理解し、感染症予防のための社会的な取り組みと、個人がおこなう対策について説明できる。		
	11	性感染症・エイズとその予防 欲求と適応機制 心身の相関とストレス	性感染症・エイズについて理解するとともに、予防するための個人・社会がおこなう対策について説明することができる。 精神機能が主として大脳で統一的、調和的に営まれていること、また人間にはさまざまな欲求があること、欲求不満に対処するための適応機制について理解し、説明することができる。 心身相関のしくみとストレスの原因、ストレスの影響と心の健康について理解し、説明することができる。		
	12	ストレスへの対処 心の健康と自己実現	心身相関のしくみとストレスの原因、ストレスの影響と心の健康について理解し、説明することができる。 自己実現と心の健康との関係、自己実現の道筋と達成について理解し、説明することができる。		
三 学 期	1	交通事故の現状と要因 交通社会における運転者の 資質と責任 安全な交通社会づくり	交通事故の現状とその要因について理解し、説明することができる。 安全な運転のための資質、交通事故を起こした場合の責任と補償について理解し、説明することができる。 安全な交通社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解し、説明することができる。	〈 評価の観点 〉 ・関心・意欲・態度 ・主体性 ・知識・理解 〈 評価の方法 〉 ・定期考査得点 ・提出物(ノート) ・欠席遅刻見学数 ・授業態度	10
	2	応急手当の意義とその基本 心肺蘇生法	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。 心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。		
	3	日常的な応急手当	日常的なけがの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。		
					35